

二年学年だより

No. 5

8月号

令和6年7月発行

学年付き教員

「コラボ」してますか？

近年、「コラボ」という単語が当たり前のように使われています。本来は「異なる立場や人による協力や連携・共同作業、またはそれによって得られた成果」という意味ですが、現在では企業同士、漫画業界や音楽シーン等あらゆるジャンルで使われています。コラボを成立させるためには一つだけルールがあります。おわかりでしょうか？ 答えは「お互いが完全に対等の立場である」ということです。

高校へ入学後、君たちは精神的に成長しますが、その大きな原動力はこの「コラボ」だと思います。ほとんどの生徒がコラボする相手は、周囲にいる同学年の生徒です。「同じ学年で完全に対等な立場」でお互いの心を開いた深い意味でのコラボができたとき、あなたにとって、その生徒はただの知り合いではなく、信頼できる大切な親友となります。また、部活動や特別活動等を通して上級生と「コラボ」する場合も多くあります。同じ部員という対等の立場と先輩後輩の関係が共存する中で、授業では学ぶことができない人間関係の在り方やその意味、異なる立場の考え方等新しい知見を得て君たちは成長するとともに、そこでしかできない貴重な体験をしたはずです。

君たちは本校2年目ですが、昨年と大きく違った環境に置かれています。それは下級生ができたということです。そこで質問です。2年生になって新1年生と「コラボ」してますか？ 部活動を例にすると、6月・7月でほとんどの3年生は引退するため、1・2年生のみで活動しているはずですが。自分から下級生に対してコラボの手を差し伸べていますか？ 1年生から手を伸ばしてくれるのを待つのですか？ 見て見ぬ振りしますか？ 新体制となった部がきちんと機能できているかどうかは、1・2年生のコラボやスタッフ及び顧問の先生とのコラボがきちんと確立できているかどうかで決まります。コラボが確立するにはある程度の時間がかかりますし、何より全員の気持ちが一つにまとまるのが必須です。部活動をしていない人は自分に関係ないとやり過ごしてしまいませんか？ 1年生とのコラボは部活動以外でも十分できますよ。

君たちがコラボすべき相手には、我々教員や保護者も当然含まれています。教員や保護者とのコラボは、特に3年次の進路決定をする時期に必ず必要となります。保護者や教員が君たちと対等の立場で君たちの将来について本気で真剣に考えるのです。したがって、保護者や教員と対等な立場で話ができるように、君たちはその時まで精神的に成長していなければならないのです。

君たちの成長こそが教員と保護者共通の願いです。2年生諸君、いろんな人と「コラボ」してください。

(指導教諭 小野山隆司)